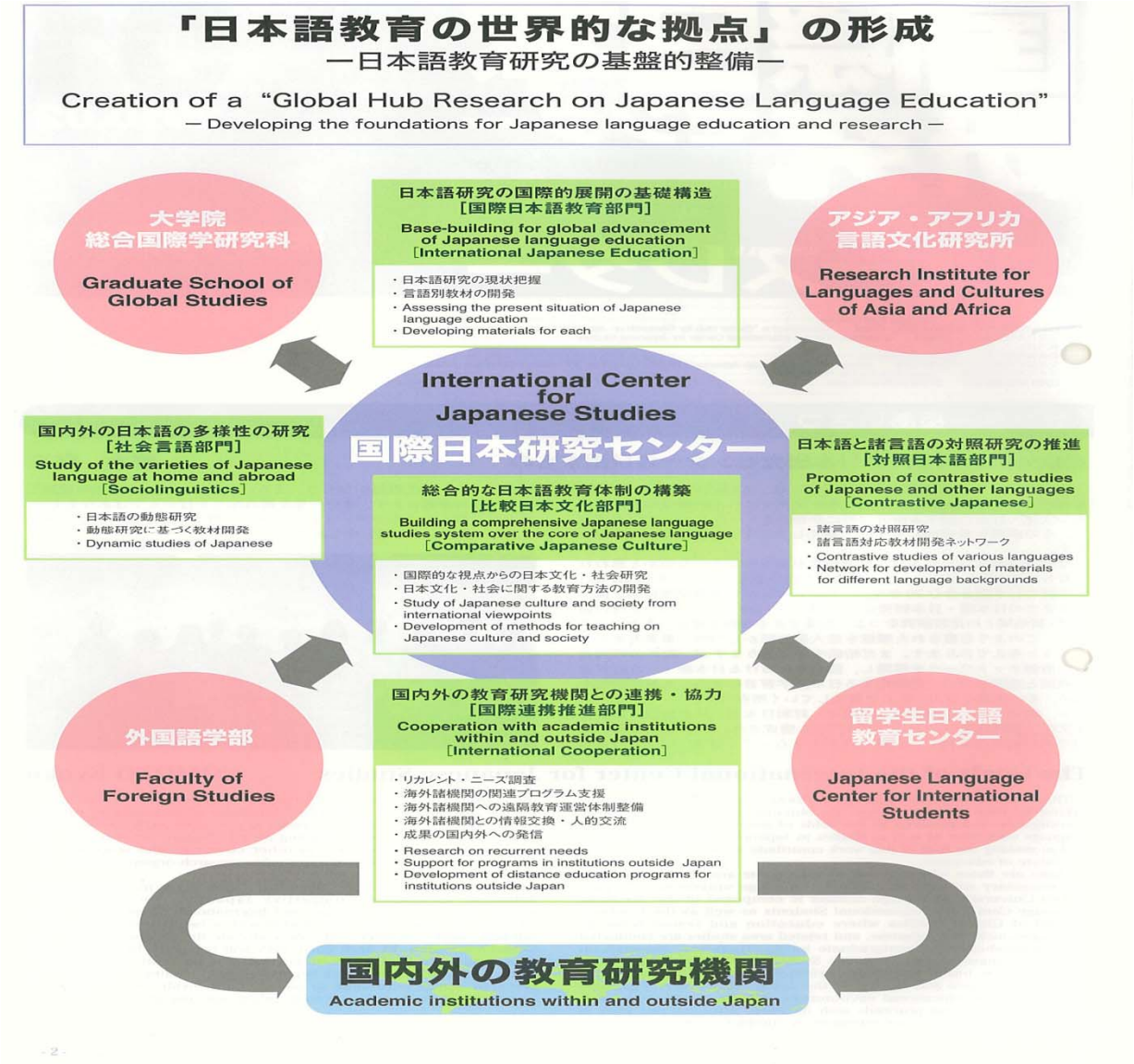
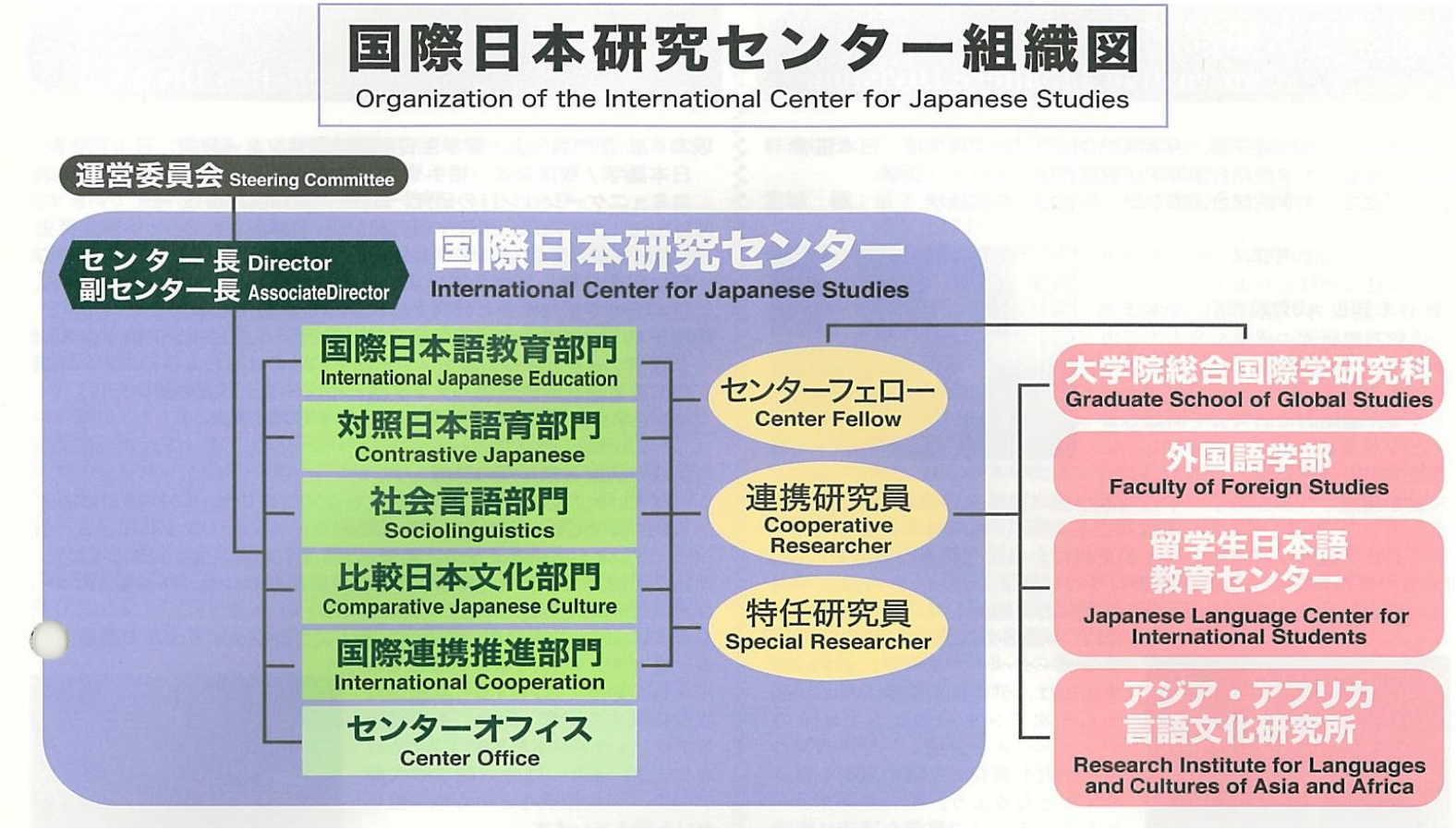
国際日本研究センターと e-Japanologyの導入 ——多摩地区大学連携とともに

東京外国語大学国際日本研究センター
比較日本文化部門・国際連携推進部門共催
国際シンポジウム
e-Japanology の構築に向けて
2010年12月11日

国際日本研究センターの基本設計



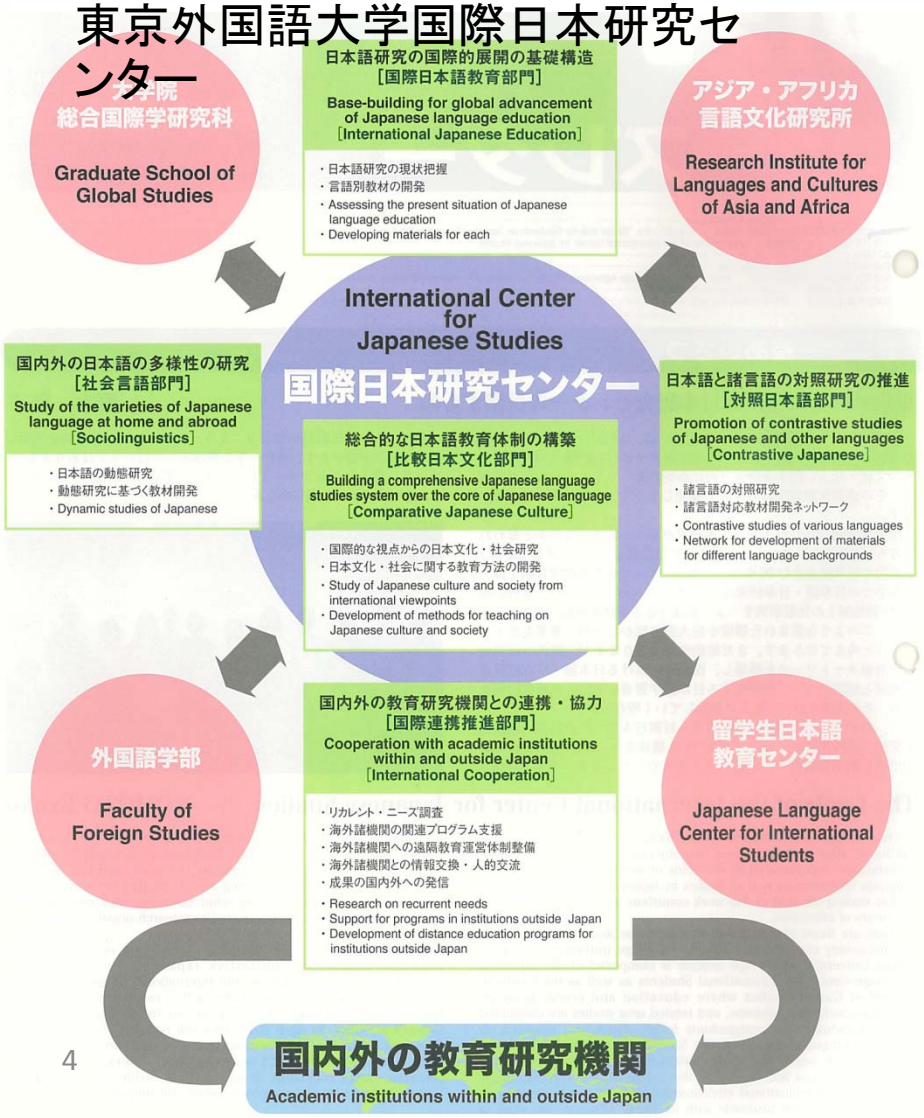
国際日本研究センター組織図



東京外国語大学国際日本研究センターと国際日本文化研究センターとの比較

国際日本文化研究センター

東京外国語大学国際日本研究センター



東京外語大国際日本研究センターの基本設計：言語＝日本語のトランス・ナショナル性、トランス・ボーダー性と教育的性格を前提に

第１研究域（動態研究）

時系列的な変化に焦点をあてた研究

（研究軸）

1）**現代**　明治以降の現代文化の変化を研究

2）**伝統**　古代から江戸時代末期までの文化の変化を研究

3）**基層**　先史時代の文化の変化を研究

第２研究域（構造研究）

時の流れの中で比較的変わらない性格を持ちつづけている部分に着目した研究

（研究軸）

1）**自然**　自然と関連しあう文化の構造の研究（環境・ヒトなど）

2）**人間**　個人と関連しあう文化の構造の研究（心理・行動など）

3）**社会**　社会組織と関連しあう文化の構造の研究（経済・政治・技術など）

第３研究域（文化比較）

日本文化と他の文化との比較研究

（研究軸）

1）**生活**　日常生活の世界各地との比較研究（衣・食・住など）

2）**制度**　社会制度の世界各地との比較研究（組織・国家・体制など）

3）**思想**　思想の世界各地との比較研究（宗教・芸術など）

第４研究域（文化関係）

日本文化と他の文化の関係・交流に着目した研究

（研究軸）

1）**旧交圏Ⅰ**　古代以来かかわりをもつ国々との文化の関係・交流を研究（中国、朝鮮など）

2）**旧交圏Ⅱ**　16世紀の大航海時代以来かかわりのある国々との文化の関係・交流を研究（主として欧米）

3）**新交圏**　その他の新たにかかわりあいをもった国々との文化の関係・交流を研究（オセアニア、南米など）

第５研究域（文化情報）

内外における日本文化研究の研究

（研究軸）

1）**外国における日本研究Ⅰ**　日本研究が大量に蓄積されている欧米の国々の日本研究の研究

2）**外国における日本研究Ⅱ**　その他の国々の日本研究の研究

3）**日本における日本研究**　日本における日本研究の研究

国際日本文化研究センター

東京外国語大学国際日本研究センター

取り組みからみる国際日本研究センターの活動――国内外ネットワークの形成と比較日本・日本語研究

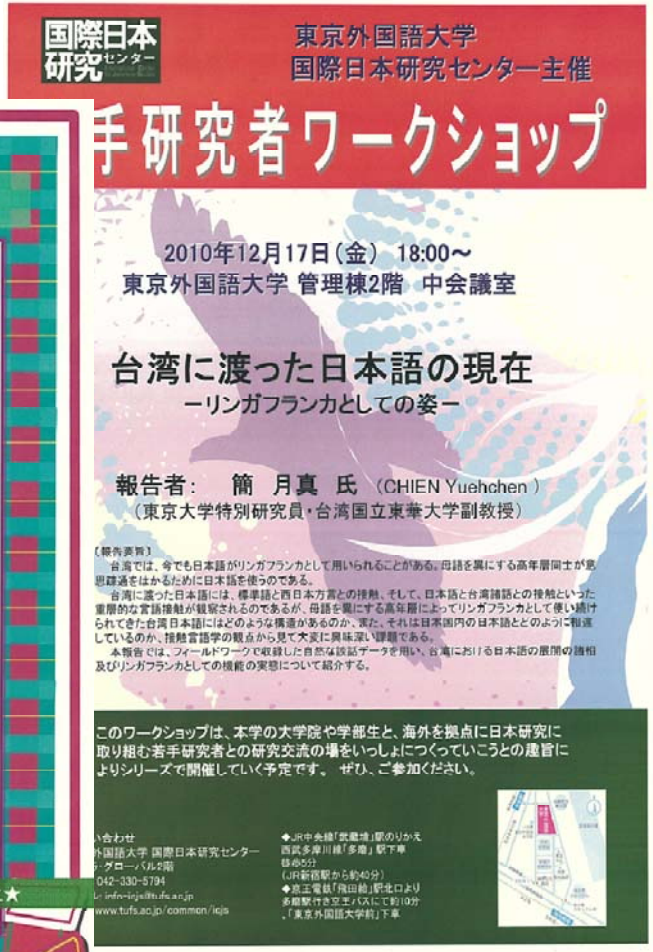
◆講演会「明治維新と宗教：北畠道龍の生涯を通して」（2010年5月20日）

◆国際ワークショップ「アメリカにおける日本語教育－英語母語話者に対する効果的な日本語教授法－」（2010年4月5日）

◆国際シンポジウム「世界の日本語・日本学～教育・研究の現状と課題～」（2010年3月6日・7日）

◆研究会「外国語と日本語との対照言語学的研究」（2009年12月19日）

◆講演会「小笠原における英語と日本語の言語接触」（2009年12月15日）



e-Japanologyを導入するために：前提1

- **“デジタル・ユートピア”と人文科学の現状**

「デジタル・バロック」の時代（Timothy Murray, コーネル大学比較文学部教授、英文学、メディア・アート)

⇕

「今日の傾向としては、近代的、現代的あるいは実用的な学習に一段と比重が置かれてきており、伝統的な科目が犠牲を強いられている」（アンドリュー・ガーストル、ロンドン大学SOAS日本学科教授、ICJS『世界の日本語・日本学』より）

☛ 基礎・古典習得＋批評・分析＋現代性・学生のニーズ

e-Japanologyを導入するために：前提2

- “e-”は電子化とアクセス可能性の組み合わせである
  すべての資料と研究の電子化を意味するわけではない。
  「どこになにがあるか」「世界で誰が研究しているか」「どう表現・発信するか」の情報の共有

参照：MIT Visualizing Cultures

e-Japanologyファサードのイメージ：各部門・各領域のvisualization

国際日本語教育

対照日本語

社会言語

比較日本文化

国際連携

比較史からみた日本
シラバス
文献・論文（PDF）
イメージ資料
プレゼン・論文フォーマット
リンク

多摩地区大学連携とe-Japanologyの構想

Actuality 具体相	Virtuality 現実態	Possibility 可能性
• ビジュアル教材の作成 • 学術情報基盤 • SNS	• 配信・メンテナンス（講師の海外派遣） • ポータルサイト構築 • デジタル・アーカイヴ作成と統合 • 情報発信サイトの構築twitter, SNSの活用	• 日本学・日本研究に関わる世界的な史資料ディレクトリ作成 • 史資料・ジャーナルのオープンアクセス化の推進のための共同の働きかけ

東京外語大国際日本研究センター → 東京農工大＋東京外語大 → 多摩地区大学連携 → 多摩地区大学連携＋国内外の教育研究機関＋国立国会図書館＋NII…

附属図書館
学術情報室・総合情報コラボレーションセンター
留学生支援室 …

ご清聴ありがとうございました。

質問・ご意見は以下まで

ttomotsune@tufs.ac.jp